

目 次

〔論 文〕

Max Weber and the End of Comtean Sociology	A. K. Saran 1
国家責任論における「行為の国家への帰属」について ——国連国際法委員会による「国家責任条文草案」を手がかりとして——	丸 山 珠 里 99
ハンガリーにおけるハイドゥー研究：その課題と展望 ——ナジとダーヴィドゥの二論文の比較を通して——	戸 谷 浩 117
エスノメソドロジー再考.....	水 川 喜 文 143

〔書 評〕

日本の経営と経営者の行動原理 清水 龍瑩著『大企業の活性化と経営者の役割』	土 居 弘 元 167
国家の歴史社会学的研究の一動向 Michael Mann, <i>State, War and Capitalism: Studies in Political Sociology</i>	住 野 由 紀 子 173

〔退任記念座談会〕

橋本 哲一教授.....		183
斎藤（福永）美津子教授.....		205
社会科学ジャーナル総目次：第20号(1)～第30号(3).....		227